

うみ・そら・みどりと 共生するまち まきのほら

今回掲載した内容は、第2次牧之原市基本計画から一部を抜粋して掲載したものです。計画の全内容は、市ホームページをご覧ください。

市では、郷土の多様な風土と文化を継承しつつ、人と自然との健全な共生が確保された望ましい環境像「うみ・そら・みどりと共生するまち まきのほら」の実現を目指し、「第2次牧之原市環境基本計画」を策定しました。

問い合わせ 環境課 永田 ☎32609

基本目標④ 地球環境

「地球のために行動するまち」



▶主な取り組み エコドライブを実践する、再生可能エネルギーを導入する、緑のカーテンを設置する

地球温暖化防止を進めるため、身近なことからできることを自ら推進し、すべての人が地球温暖化防止の活動に取り組むまちづくりを進めます。

環境指標 (抜粋)	現状 平成27年	目標 平成33年	目標 平成38年
家庭版環境マネジメント	31世帯/年	120世帯/年	150世帯/年
環境マネジメントシステム取得事業所総数	51事業所	60事業所	70事業所

基本目標⑤ 環境教育

「環境への思いをつなぎ育てるまち」



▶主な取り組み 環境に関心を持つ、観察会や講演会などに参加する、環境情報を活用する

環境に関する教育や情報の提供、実践活動を推進することで環境のことを考え、自らが率先して行動・協働する持続可能な社会の実現を目指します。

環境指標 (抜粋)	現状 平成27年	目標 平成33年	目標 平成38年
環境教室の開催数	21回/年	30回/年	40回/年
環境リーダーの数	8人	10人	20人

基本目標② 資源循環

「資源を大切に作る心をもつまち」



▶主な取り組み 生ごみをたい肥にして使う、資源回収に協力する、節水する

環境負荷の少ない持続可能な社会を実現するため、資源を有効活用し、豊かな環境の恵みを享受できる「質」を重視した循環型社会を目指します。

環境指標 (抜粋)	現状 平成27年	目標 平成33年	目標 平成38年
市民1人1日当たりのごみの発生量	843g/人・日	780g/人・日	780g/人・日
ごみのリサイクル率	27.8%	32%	34%

基本目標③ 生活環境

「クリーン＆グリーンを広めるまち」



▶主な取り組み 生け垣や花壇の緑を増やす、騒音の発生を防止する、水を汚さない

花と緑豊かな環境づくりと、大気や水の汚染、騒音・振動や悪臭などの問題をできる限り低減し、安心して暮らせる快適で健康なまちを目指します。

環境指標 (抜粋)	現状 平成27年	目標 平成33年	目標 平成38年
市民グループが管理する花壇	36カ所	40カ所	45カ所
生活雑排水処理率	40.3%	47%	55%

第2次牧之原市 環境基本計画

(平成29年度～平成38年度)

5つの 基本目標

基本目標① 自然環境

「里山・里地・里海と人をつなぐまち」



▶主な取り組み 海岸美化活動、生き物や自然とふれあう、地域の環境資源を守る

自然環境の保全や人と自然とのふれあい促進、景観・歴史文化に配慮するなど、市の豊かな自然や風土を生かし、人と自然が共生するまちを目指します。

環境指標 (抜粋)	現状 平成27年	目標 平成33年	目標 平成38年
地域での清掃ボランティア活動の実施回数	33回/年	37回/年	40回/年
自然体験学習の実施	69回/年	75回/年	80回/年

「ふるさと」づくりを進めていく
牧之原市には、緑豊かな牧之原大茶園や広大な海岸線など、市民が思い浮かべる「ふるさと」の風景、光、音色、香りがたくさんあります。
第2次環境基本計画には、市にある豊かな環境を守り、復元していくことで、潤いと安らぎに満ちた環境を創出し、次世代へと継承できる、愛着と誇りの持てる「ふるさと」づくりを進めていく思いが込められています。

環境像の実現に向け
第2次環境基本計画では、望ましい環境像「うみ・そら・みどりと共生するまち まきのほら」の実現に向け、5つの基本目標を柱に取り組みを進めていきます。
①自然環境「里山・里地・里海と人をつなぐまち」
②資源循環「資源を大切に作る心をもつまち」
③生活環境「クリーン＆グリーンを広めるまち」
④地球環境「地球のために行動するまち」

計画を着実に進めていくために
計画を着実に推進していくため市民や関係者、事業所が協働して、環境活動に積極的に取り組んでいきます。まずは、ごみの分別や清掃活動、花壇の手入れなど、皆さんができることから、環境への取り組みを始めてみましょう。

⑤環境教育「環境への思いをつなぎ育てるまち」
動するまち